

ESLに参加して

環境共生学部 食健康科学科 2年 山口千紘

このプログラムに参加して、多くの貴重な素晴らしい体験をすることができました。すべてのことがわたしにとって新しいことだらけで、毎日がとても充実していました。英語の学習はもちろん、ホームステイすることでホストファミリーから様々なアメリカの文化について教えてもらうこともできました。モンタナ州ビリングスはとてもどかな田舎で、空がとてもきれいな街です。街のいたる所で **Big sky country** という言葉を見ました。

モンタナでは、MSUB(モンタナ州立大学)で午前中に英語の授業を受け、午後は毎日異なるアクティビティーをしました。授業は少人数で文法や会話の練習をしました。授業中にはそのほかにも、テキストに関連させてそれぞれの国の文化について説明し合ったり、日常の様々なことについてアメリカ・中国・日本そしてその他の国々での違いについても議論したりもしました。それぞれの出身国によって考え方が異なり、意見が分かれることもありましたが、お互いの考え方を尊重し合い、私たちは見た目や出身こそ違っても同じ人間であるということに改めて感じることができました。授業は本当に面白く、どんなに疲れていても眠くなることはありませんでした。午後のアクティビティーでは、映画館に行って映画を見たり、ネイティブアメリカンのお祭りを見に行ったり、カーボーイを見たり、ロッククライミングをしたりしました。どのアクティビティーもアメリカを肌で感じることでとても貴重な経験になりました。また、ESL プログラムの中にはイエローストーン国立公園への



旅行もあり、多くの野生動物や壮大な風景を見ることができました。イエローストーンでは、ヨーロッパやアメリカの中でも別の州から観光に来ている方もいて、それぞれの生活や言葉について話をすることができました。



学校が終わった後や学校が休みの日には、ホストマザーと買い物やドライブ、ファーマーズマーケットに行ったり、ホストファミリーの男の子たちが通っている高校にアメリカンフットボールの練習を観に行ったりしました。高校では、ホストファミリーの男の子たちの友達と話すこともありました。高校生の女の子はとても話すのが早くて私の英語力では全く聞きとることが

できず、もっと英語を勉強したい！と思いました。夜には、学校の近くにある野球場に野球をよく見に行きました。そこではホストファミリーの知り合いとお話をしたり、小さな子どもと遊んだりすることができてとても楽しい時間を過ごしました。

英語はあまり得意ではなく、人と話すのも苦手な私ですが、私の英語が間違っているときは、正しい言い回しを周りのみんなが教えてくれるので、ESL プログラムの間はどんなに拙い英語でも自分の考えや思いを伝えるように努力しました。英語を使って伝えることにどれだけ時間がかかっても、理解し合えた時はとても嬉しかったし、もっとスムーズに伝えることができるように英語を勉強したいと思えました。また、ホストファミリーは本当の家族のように迎えてくれました。いつもわたしのことを考えてくれ、私を楽しませようとしてくれました。日本に帰ってきてからは、逆にホームシックを感じてしまうほど素晴らしくて、本当に楽しい時間を過ごすことができました。日本に帰ってきた後も、メールをしたりチャットをしたりしてお互いの生活について話したり、写真を見せ合ったりしています。

ESL に参加して、私の中に大切なものがたくさん増えました。それを想うことで、私は毎日頑張ることができるし、笑顔になれます。たくさんの素敵な出会いと思い出を得ることができ、本当に幸せな経験ができました。ESL に参加することでお世話になった先生方、友達、ホストファミリー、そして私の家族に感謝して、この素晴らし経験をこれからの生活に活かしていきたいと思えます。

